

広報委員長会議次第

開催日時 令和6年(2024年)11月1日(金)
午後1時30分から
開催場所 市役所3階全員協議会室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

(1) 11月の広報事項

①小田原文学館が開館30周年を迎えます

(図書館)

②令和6年度特別展「小田原城とその城下を掘る！」開催について

(小田原城総合管理事務所)

(2) 市政への要望事項等

①11月の市政への要望事項等

4 閉 会

◀ 資料データを市ホームページで公開しています ▶

「トップページ」⇒「小田原で暮らす」⇒「行政経営」

⇒「広報・広聴」⇒「広報委員」⇒「広報委員長会議」



小田原文学館が開館 30 周年を迎えます

【設立の趣旨】

古くから城下町、宿場町として栄えた小田原は、進取の気風に富んだまちでもあり、明治期以降、近代文学の先駆けとなった北村透谷、それぞれ独自の作風の私小説で知られる牧野信一・尾崎一雄・川崎長太郎、市民・労働者に目を向け詩誌『民衆』を創刊した福田正夫らの詩人をはじめ、多くの文学者を輩出しました。

また温暖な気候や歴史的な情緒・風情に魅了され、北原白秋・谷崎潤一郎・三好達治・坂口安吾・北條秀司・岸田國士など、そうそうたる文学者が居を構えました。とりわけ、白秋が「からたちの花」などの多くの名作童謡を、北條秀司が大ヒット作となった戯曲「王将」「文楽」などを発表したことは特筆されます。また彼らを小田原に訪ね親しく交流した文学者も少なくありません。

小田原文学館は、こうして育まれた豊かな文学的な風土を市民の皆さんをはじめ広く全国に発信するための拠点施設として、平成6年11月23日に開館しました。

【施設の特徴】

小田原文学館の本館・別館（白秋童謡館）は、明治期に宮内大臣などの要職を務めた政治家・田中光顕が別邸として建築したもので、鉄筋コンクリート造3階建てスペイン風洋館の本館は、著名な建築家・曾禰達蔵が最晩年の昭和12年に設計を手掛けた作品として知られています。別館の白秋童謡館は関東大震災の翌年・大正13年に竣工した堅牢な純和風2階建ての木造建築。外観・内装とも、建築当初の姿をよくとどめており、格調高い畳廊下や地下室などが見どころです。

ともに貴重な歴史的建造物であり、国の登録有形文化財に登録され、市の歴史的風致形成建造物に指定されています。

【記念催事】

1 特別展「小田原出身・ゆかりの文学者たち—その手蹟と事績」

開館30周年を記念して、自筆原稿や書簡・書画類などに見られる尾崎一雄や北原白秋・谷崎潤一郎ら小田原出身・ゆかりの文学者たちの個性豊かで味わいのある筆跡を、彼らの事績を交えてご紹介します。

会 期：令和6年10月24日（木）
～12月8日（日）



小田原文学館 本館

10:00～16:30（入館は16:00まで） 月曜（祝日の場合は翌平日）休館

会場：小田原文学館本館2階展示室

入館料：一般250円・小中学生100円（入館料）

2 西海子周辺文学散歩

小田原文学館のある西海子小路周辺の文学遺跡を散策します。

主な散策場所

北原白秋居住地、谷崎潤一郎居住地（静山荘）、村井弦齋居住地（旧松本剛吉別邸）、北條秀司・岸田國土居住地、三好達治居住地、坂口安吾居住地など（予定）

日時：令和6年11月30日（土）・12月1日（日）

10:00～12:00（小雨決行）

集合：小田原文学館本館玄関前

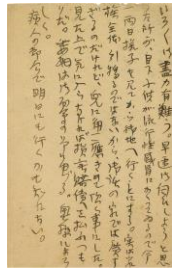
定員：各10人・申込先着順

申込：11月12日（火）以降、中央図書館へ電話で。

* 特別展の展示資料から



（表）



（裏）

谷崎潤一郎葉書
北原白秋宛



尾崎一雄絶筆草稿「春寒」



北原白秋六首和歌屏風六曲一双（左隻）

令和6年度小田原城天守閣特別展

「小田原城とその城下を掘る！」開催要項

1 主旨

戦国時代最大ともいわれた小田原城とその城下は、昭和57年の御用米曲輪から本格的に発掘調査が開始され、その数は今日までに600カ所を超えます。発掘調査によって、戦国時代の小田原城がどのように発展して、江戸時代に引き継がれてきたのかが明らかになりつつあります。今回の特別展では、これまでに出土した豊富な遺物、堀や石垣の遺構写真などを展示し、発掘成果をお伝えします。

【小田原城とその城下】

小田原城は、小田原北条氏の本城として、関東支配の拠点であり、戦国末期にはわが国最大の城郭に発展しました。江戸時代には幕府の西を守る重要な城として、天守に櫓、石垣と水堀という近世城郭に改変されます。そして、城下町は、戦国時代では東国随一の都市であり、江戸時代は東海道の有数の宿場として存在していました。小田原城とその城下は、中世から近世までの400年の歴史が連続と重層的に残された城郭遺跡であり、発掘から明らかになった有数の中近世都市遺跡なのです。

【発掘調査から分かってきたこと】

小田原城関係の発掘調査は、1982年の御用米曲輪から本格的に開始され、今日では大小合わせて600カ所を超える地点が調査されています。

御用米曲輪では、江戸時代に幕府の米蔵のあった場所でしたが、戦国時代は北条氏政の壮大な居館であった可能性が高まってきました。

三の丸ホールや小田原駅前のミナカ小田原や市民交流センターUMECOなどでの発掘では、戦国時代の道路や井戸、江戸時代の堀や石垣などの遺構が、多くの陶磁器などと一緒に出土しています。掘ってみなければわからなかった、小田原城とその城下の歴史が解き明かされてきました。

本特別展では、小田原城関係の発掘調査による考古学的調査の成果を一堂に集め、小田原城とその城下の成立ちや変遷について探ります。

2 会期 (予定)

令和6年(2024年)11月30日(土)～令和7年(2025年)2月24日(月・休)

※令和6年12月11日(水)、12月31日(火)休館

開館時間 9:00～17:00(最終入館16:30)

3 会場

小田原城天守閣4階企画展示室(小田原市城内6-1)

入館料 大人510円、小中学生200円

4 主な展示予定資料

小田原城図(文久図等)

二の丸住吉堀、御用米曲輪、八幡山古郭、三の丸武家屋敷、小田原城下、総構などの調査写真・出土遺物などを予定

5 関連事業

(1) 学芸員による展示解説

令和6年12月14日(土)、令和7年1月18日(土)、2月15日(土)

13:30と15:30 1日2回 30分程度

令和6年12月25日(水)、令和7年1月15日(水)、2月12日(水)

15:30 1日1回 30分程度

いずれも申込不要(要入館料)、当日直接4階特別展会場へ集合

(2) 特別講演会「小田原城を掘る 城郭史研究と考古学」

日 程：令和6年12月1日(日) 10:25～17:00(開場10:00)

会 場：小田原三の丸ホール 大ホール(定員約1,000名)

講 師：竹井英文(東北学院大学教授)、佐々木健策(小田原市文化財課副課長)、
諏訪間順(小田原城天守閣館長)

参加費：無料

申 込：11月11日(月) 午前9時より小田原城公式HP申込フォームより受付

<https://odawaracastle.com/>

【タイムスケジュール(予定)】

10:00 開場

10:25～10:30 開会あいさつ

10:30～11:30 講演1 佐々木健策「小田原北条氏の居館を掘る～御用米曲輪の調査から～」

11:30～13:30 休憩 ※昼食・特別展観覧(要入館料)など各自ご自由にお過ごしください
(12:00～12:30 御用米曲輪遺跡見学が可能です)

13:40～14:40 講演2 諏訪間順「発掘から読み解く小田原城とその城下の変遷」

14:40～15:50 講演3 竹井英文「城郭研究の現状と課題ー「杉山城問題」を通してー」

15:50～16:10 休憩・舞台転換

16:10～16:55 ディスカッション「小田原城を掘る 城郭史研究と考古学」

16:55 閉会



史跡小田原城跡 御用米曲輪検出切石敷遺構



八幡山古郭東堀字八幡枝堀



小田原城天守閣特別展

小田原城とその城下を

掘る!

発掘調査から解き明かされる歴史



2024 11/30^{sat}

2025 2/24^{mon}

※12月11日(水)・31日(火)休館

小田原城天守閣 4階 企画展示室

- 開館時間 9時00分から17時00分
(入館は16時30分まで)
- 入場料 一般510円、小・中学生200円
- 主催 小田原城天守閣
- 問合せ 〒250-0014 神奈川県小田原市
城内6-1 小田原城天守閣
tel 0465-22-3818

住吉堀の戦国期障子堀と近世石垣

小田原城天守閣
ODAWARA CASTLE OF TOWER

戦国時代最大ともいわれた小田原城とその城下は、昭和57年の御用米曲輪から本格的に発掘調査が開始され、その数は今日までに600カ所を超えます。発掘調査によって、戦国時代の小田原城がどのように発展して、江戸時代に引き継がれてきたのかが明らかになりつつあります。今回の特別展では、これまでに出土した豊富な遺物、堀や石垣の遺構写真などを展示し、発掘成果をご紹介します。



藩校集成館出土かわらけ



御用米曲輪発掘調査風景



金箔かわらけ



鍋島焼

展示解説

- 12月14日(土)、2025年1月18日(土)、2月15日(土)
午後1時30分～、午後3時30分～(1日2回 30分程度)
- 12月25日(水)、2025年1月15日(水)、2月12日(水)
午後3時30分～(1日1回 30分程度)

※いずれも申込不要(要入館料)、当日直接4階特別展示室へ

特別講演会

「小田原城を掘る 城郭史研究と考古学」

2024年12月1日(日) 10:25～17:00(開場10:00)

小田原三の丸ホール 大ホール 入場無料

小田原城公式HP 申込フォーム (<https://odawaracastle.com/>)

詳細はホームページで御確認下さい。

スケジュール

- 10:00 開場
- 10:25 開会あいさつ
- 10:30 《講演1》「小田原北条氏の居館を掘る」佐々木健策(小田原市文化財課副課長)
～御用米曲輪の調査から～
- 11:30 休憩 ※昼食・特別展観覧(要入館料)など、各自ご自由にお過ごしください
(12:00～12:30 御用米曲輪遺跡見学が可能です)
- 13:30 《講演2》「発掘から読み解く小田原城とその城下の変遷」諏訪間 順(小田原城天守閣館長)
- 14:40 《講演3》「城郭研究の現状と課題 —「杉山城問題」を通して—」竹井英文(東北学院大学教授)
- 15:50 休憩
- 16:10 ディスカッション「小田原城を掘る 城郭史研究と考古学」
- 16:55 閉会



佐々木健策



諏訪間順



竹井英文



【開館時間】9時00分～17時00分(入館は16時30分まで) 【交通案内】□鉄道

JR東海道新幹線、JR東海道線、小田急電鉄小田原線
箱根登山鉄道、伊豆箱根鉄道大雄山線、小田原駅より徒歩10分

【入場料】□天守閣

- 一般510円、小・中学生200円
- 常盤木門SAMURAI館
一般200円、小・中学生60円
- 歴史見聞館NINJA館
一般310円、小・中学生100円



小田原城公式ホームページ

□車

小田原厚木道路 荻窪ICから約10分
西湘バイパス 小田原ICから約5分
東名高速道路 大井松田ICから約40分

※「未就学児」、「障がい者手帳(原本)を提示の方と介助者1名」は無料です。
※園内の施設は休憩している可能性もありますのでホームページ等でご確認ください。



各館ともWi-Fiが無料で使えます。